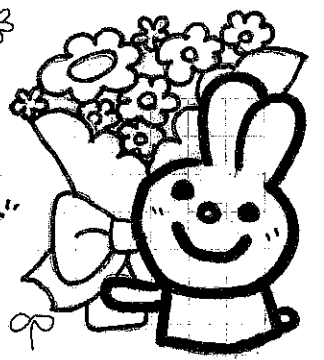


3月

かせ組 そら組 たいようぐみ クラスだより



厳しい寒さが和らぎ、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになってきました。月日が経つのは早いもので最終号となりました。一年間を振り返ると子どもたち一人ひとりの成長が目に見えます。保護者の皆様にはご理解とご協力も頂きありがとうございました。

～ 2024. 3. 22 円町まぶね隣保園 ～

かせ組 3月に入ってから給食やおやつ時間はそら組、たいよう組と一緒に食べています。会話に交わり楽しそうに食事の時間を過ごしています。異年齢で過ごす時間が増え、子どもたちの遊び方も変わってきました。トランプやこま遊び、氷鬼などが最近の遊びのゲームです。そら組、たいよう組の友達と一緒にした遊び、教えてもらったルールをかせ組の子どもたちが教えて遊ぶ姿も見られます。

たいよう組へプレゼント作り

お別れ会で渡すプレゼントに「写真入れ」を作りました。セクた段ボールの上に木の棒を4本組み立ててフレームを作ります。初めてセクた段ボールは固くてなかなかハサミが進まず、苦戦する姿があり「カギこめておかないとセクれない」と話していました。木の棒には一本ずつ好きな色の毛糸をワルワルと巻いていきます。運動会のTシャツ作りでもワルワル巻いたのですが、その時は保育者がついてお手伝いしていたのが、最初の「巻きたけくり」付けるとその後は一人で巻くことになっていてとても成長を感じました。写真入れの中には子どもたち一人ひとりが描いた絵をいれました。「こっちが自分で、こっちが○○ちゃん」と渡すのを楽しみにしている様子で、心のこもった素敵なプレゼントが出来上がりました。

おおきくなつたね

預児組から幼児組へと保育室も変わり初めは不安そうにしていた子どももいたと思います。でも今は笑顔で自分の足で「おはよう」と来てくれるようになりました。一人でできるよになったことも沢山あります。この一年で子どもたちは「好きな遊びを一人ひとりで楽しむ姿」から「友達と一緒に好きな遊びを楽しむ姿」に変わったと思います。毎日元気いっしょのとても賑やかなかせ組です。泣いて笑って表情豊かな子どもたちは友だちのことが大好きです。遊びたいのにうまくいなくて涙山ふらふら喧嘩することもありました。でもその経験があったからこそ、自分の気持ちも友だちの気持ちも分かるようになってきました。そら組にすばるまでより一層一人ひとりの素敵なところが光輝くようになっていきました。

一年間本当にありがとうございました

そらぐみ

おプレゼント制作
卒園するたいよう組の子どもたちに、小物が入る巾着袋を作りました。針と刺し糸を使って裁縫をしました。子どもたちにとって裁縫は初めてのことで、先が尖っていない刺し糸の針を使いました。事前に「先が尖っていない」といって、針の先を触ったら痛いこと、危ないことを伝えてから始めました。布の三辺を子どもたちが縫います。まず、一辺だけ表裏に点を描いておき、表裏両方に、点に針を刺せるようにしました。針を進めていくと、あとはスイスイと縫っていきます。残りの二辺は、初めの一辺を縫う方を理解して、点がなくとも、ゆっくり、一針一針、丁寧に縫って行きました。針を刺す時の真剣な表情には緊張感も感じました。あまりの真剣なまなざしに、「どう？楽しい？」と聞くと、真剣なまなざしが、笑顔になりました。「さすのかたのいい」と言っていました。制作展の時にした織物も楽しんでいました。裁縫をした後は、プレゼントする友だちの絵を描きました。なかなか経験することができないことを試みることで、集中して指先を使って作る楽しさを感じてほしい。今回の制作では裁縫をしました。あうりではなかなか難しいことかもしれませんが、また機会があれば親子で一緒に楽しんでほしいと思います。



お早寝早起き
もうすぐ4月です。小学生になるまであと1年です。早寝早起きはどうですか？小学生になると、今とは違い、集団登校がほとんどで、集合場所には遅くとも8時頃には集合することにはなるのではないのでしょうか？(小学校が遠いところだと、もっと早いのではないのでしょうか)。健康表を見ていると、7時半も過ぎていたり8時に起きている子どももいるようです。起きてから、授業が始まるまでの時間が短いと、頭が昏昏めであらう授業中にボーッとして集中できなくなります。また、朝は早く起きて、寝るのが遅いと、睡眠不足で午前中、無気力になります。一年あるからまだいいだろう、起きるまで寝かせておこうでは入学前になって大変なことになります。今からでも早寝早起き、習慣をつけて気持ちよく一日が過ごせるように、入学前になって小荒でないようにしましょう。

一年間、ありがとうございました。至らなかつたことも多くあったかと思いますが、マイペースな個性豊かな子どもたちと過ごせたことを嬉しく思います。昨年までコロナの自粛で行けなかつた園外保育に行けて、楽しい時間でした。残りのそら組としての日々をみんなで笑って過ごしたいと思っております。

たいようぐみ

楽しかった1年があったという間に過ぎ、子どもたちは卒園します。友だちと一緒に楽しんだことや難しかったことなど、一人ひとり違いますが、みんなで大きくなったことはとても良い思い出として残してほしいと思います。3月に入ってから卒園式ごっこが始まり、最初は卒園ということがピンときていない様子の子もいる中で進んでいきました。証書を受け取る時に園長と目を合わせるなどを伝えていく中で少しずつ理解し、今では緊張しながらもすてきな姿を見せています。頑張るところでは頑張るけれど、終わるといつものように甘えたり、元気に遊んだりする姿は今のたいようぐみの子どもたちらしいなと思いました。歌の練習では、歌詞を覚えることが難しく、最初は「あれ？」ととまどう姿もありました。毎日歌い続けるうちに少しずつ歌えるようになってきていることに子どもたちも気づき、「どう？よかった？」と確認していました。お別れ会で他のクラスに渡すものとして卒園制作も作りました。乳児クラスにバスのおもちゃ、ホールにもなるカラカラおもちゃを作り、幼児クラスに洋服とカルタを作りました。どのように作るかを一から考え、自分の作る物が出来あがったら、手伝いはないかと違うグループに聞いていたなど、みんなで作っていつている感じがしました。作る時には他クラスに渡すので、どういうものがもたら嬉しいかも考えながら相談し、進めている姿が見られました。自ら声をかけて、「こっちやるわ」と言っている姿が印象に残りました。



お別れ遠足では大文字山に行きました。初めていくところでしたが保育園の屋上から見ていたり、何度も子どもたちの話題に出たりとすく身近なところだと思いました。山の下から「大」の文字が見えた時には「すく高いな」と話していた子どもたちでした。「仁和寺より高いかな？」と今まで登ったところと比較している子どもたちもいました。いよいよ登り始め、とんとん山道に入っていました。ペースもそれぞれで声をかけあいながら登っていきます。「もうつれた」「まだ？」と保育者に聞きながらもなんとかみんなで登ることが出来、京都の景色を見て「すくいい」と声をあげていました。お楽しみのお弁当の時にあらが降ってきて、子どもたちは驚き、泣いている子どももいました。それでも頑張って下まで降り、お弁当を食べ、帰ってきました。色々なことがありましたが、最後に大文字山に行けてよかったです。

保育園で見たことや感じたことを忘れず、小学校でも楽しいことを見つけてほしいと思います。一年間ありがとうございました。